

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

各地区では現在、地域行事・地域活動が活発に行われています。地域ケアプラザは各地区に積極的に訪問し、健康づくりや介護予防講座等の開催、移動販売の支援等をさせていただいています。  
令和7年度は地域ケアプラザの周知を強化するため、地域に向けた取り組みとして、デイサービスの食イベントを地域に開放し地域交流を深めます。また、地域の皆様が気兼ねなくご利用いただけるような場所となるよう努めます。さらに、地域の皆様が健康で安心した社会生活が送れるよう、地域の皆様とともに地域づくりに努めてまいります。

今年度の重点的な取組

| 新規                                  | 継続                                  | — 具体的な取組内容 —   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域の相談窓口として、高齢者だけではなく、障害児者や子どもの相談についてもしっかりと受け止め、各専門機関と連携し支援します。  |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域支援者の協力を得ながら支援できるよう、地域支援者へのアプローチを心がけ、区役所の多職種とともに課題解決できるようにします。<br>・相談ケースへの直接支援や連絡会などを通じ、他部署の役割を理解しながら連携に努めます。        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | ・地域ケアプラザ全職員が一体となって、デイサービスで実施している食のイベントを地域にも開放し、地域の皆様にも楽しんでいただく機会を設定します。  |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | ・今年度も、町内会、保育園、学校、金融機関等において、認知症サポーター養成講座を開催します。また、認知症について学ぶ講座を開催します。  |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | ・要介護状態となる前から、介護予防の必要性について、講座や地域のつどいの場等に出向き、地域住民に伝えていきます。   |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域ケア会議を実施し、課題共有を図り、行政、民生委員、医療機関、サービス事業所などの多職種協働やネットワーク作りにつなげます。<br>・地域課題について整理し、不足している社会資源について、地域の方や関係機関等と一緒に考えていきます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域の皆様にケアプラザを気軽に利用していただくため、地域活動交流の自主事業では幅広い世代を対象にした取組を行いました。夏休み企画の新たな取組として、「こども研究室・小学生を対象としたパソコンの組み立て教室」を実施しました。参加した子どもたちは皆、真剣に取り組み、楽しみながら学ぶことができました。また、介護予防講座では、関東学院大学栄養学部の教授による「食の大切さ」について学ぶ講座等を開催し、多くの地域の皆様に参加いただきました。11月下旬には「柳町ふれあい感謝祭」を開催し、さらに今年度新たな取組を検討するため、地域つながり委員会を発足し今年度2月「芋煮会」を開催します。地域とのつながりを強化する活動となります。総合相談では、介護保険に関することに加え、一人暮らしの高齢者に関する相談、県外からの転院、施設入所に関する相談等が多くありました。虐待の疑いなど複雑化したケースについては、区役所・サービス事業所等、関係機関と連携し支援しました。認知症サポーター養成講座では、これまでの保育園、大学に加え、小学校、高校からの依頼があり、今年度末に実施していく予定です。  
今後も住民主体の活動を大切にしながら、地域の皆様に寄り添った支援を継続していきます。

区からのコメント

日頃から地域に出向き、相談しやすい雰囲気づくりを大切にしながら、高齢者に限らず障害児・者や子どもを含む多様な相談に対応してこられた姿勢は、地域に根ざした丁寧な実践として受け止めています。  
インフォーマルサービスの把握やアウトリーチによる情報収集、住民や関係者と対話を重ねた地域アセスメントを通じて、地域の実情を丁寧に整理されていることがうかがえました。また、認知症理解や障害理解の促進、多世代交流の場づくりなど、ケアプラザの場の特性を生かした取組は、地域に新たなつながりを生む重要な役割を果たしています。  
今後も地域の声を大切にしながら、区役所としても関係機関との調整や情報共有を通じて連携を図り、地域の取組が継続・発展していくよう支援していきたいと考えています。  
認知症に関する普及啓発やエンディングノートの取り組みをはじめ、幅広い年代に向けた啓発活動を実施されています。特に、認知症については地域ケア会議で複数年度テーマとして取り上げられており、ケア会議での議論がチームオレンジの取組みにもつながっています。虐待対応や権利擁護では、関係機関と連携しながら丁寧に対応されており、独居や身寄りのない高齢者への支援にも継続して取り組んでいました。また、民生委員・ケアマネジャーとの連携強化や医療機関とのネットワーク構築も進んでおり、地域課題を踏まえた事業展開が行われています。今後も8050問題やインフォーマル資源の開発など、地域の声をもとに区とともに課題解決へ取り組んでいければと考えています。